

九電グループの事業基盤、九州について

九州の位置と経済規模

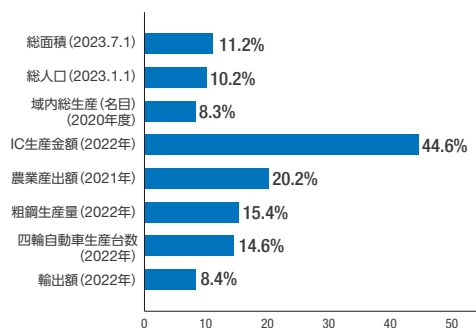
九州から未来を創る九電グループは「九州の発展なくして、九電グループの発展なし」と考え、九州を事業活動の基盤としています。

九州は日本列島の南西部に位置し、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島県の7県で構成されており、九州の人口は約1,274万人（日本全国の10.2%）、面積やGDPも全国の1割前後で、九州の経済規模は「1割経済」と呼ばれています。

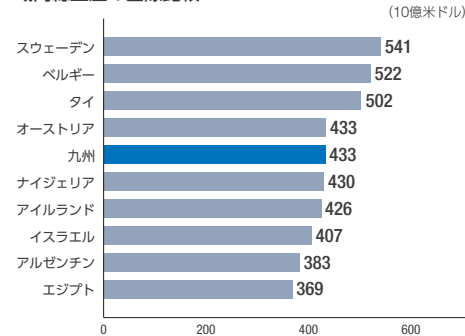
九州の域内総生産はオーストラリアやナイジェリアと同程度の経済規模で、基幹産業であるIC生産金額、農業産出額、粗鋼生産量、四輪自動車生産台数では全国比で高い比率を占めています。



全国に対する九州のシェア



域内総生産の国際比較



上記3図表の出典：経済産業省 九州経済産業局、九州経済国際化推進機構「PROFILE OF KYUSHU 2024」2024年5月28日

TOPICS

九州における半導体産業の成長

九州エリアの半導体産業の活性化

日本では半導体産業の競争力向上を目指し、国内で生産した半導体関連の売上高を2030年までに現在の5倍の15兆円に拡大する目標が掲げられています^{*1}。この目標に向かって、九州を含め、全国で半導体産業の活性化が進んでいます。

九州は半導体産業において高い生産力と高付加価値品の生産維持を誇り、シリコンアイランドと呼ばれてきました。九州経済産業局によると、2023年に九州の半導体生産額は1兆1,534億円に達し、16年ぶりに半導体生産実績が1兆円を上回りました^{*1}。また、九州には半導体関連企業が多数集積しており、2024年には台湾積体回路製造 (TSMC) が熊本に工場を開設するなど、国内外からの設備投資や進出企業の動きも活発です。この活性化の背景には、半導体生産に必要な水資源や電力供給の安定性などの地理的条件があります^{*2}。

近年、九州は「新生シリコンアイランド」として、日本の半導体産業のリーダーとしての魅力と価値を高めています。

電力需要などへの影響

九州域内での設備投資と生産活動の活発化は、九州全体や隣県に大きな生産や消費の拡大をもたらすとされ、ここ数年で産業用電力需要が数十億kWh程度増加する可能性があります^{*3}。九州経済調査協会の推計によると、2021年からの10年間で、九州・沖縄・山口への半導体関連の設備投資による経済波及効果は、合計20兆770億円に達する見込みです^{*4}。

九州電力は、「競争力のある電気料金水準」と「CO₂排出係数の低い電気」を強みに、地域の発展を支えるパートナーとして九州エリアの電力需要の高まりに応え、収益拡大を目指します。

^{*1} 出典：経済産業省 九州経済産業局、(一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会「九州半導体人材育成等コンソーシアム (第4回会合)」2024年2月27日

^{*2} 出典：日本銀行福岡支店「九州における半導体関連産業の動向～オール九州で挑むシリコンアイランドの未来～」2023年3月20日

^{*3} 出典：電力広域的運営推進機関「全国及び供給地区ごとの需要想定 (2024年度)」2024年1月24日

^{*4} 出典：公益財団法人九州経済調査協会「九州経済調査月報2024年1月号/九州における半導体関連設備投資による経済波及効果の推計」2023年12月15日

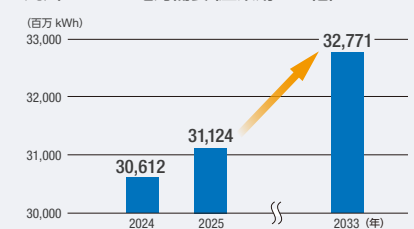
九州における企業の主な設備投資計画

合計**83**件
4兆**7,000**億円超^{*}
(金額は公表企業等の合計額)

^{*}：各社・各県・経済産業省等のHP情報等をもとに九州経済産業局が試算 (2021年4月～2024年2月26日時点)

出典：経済産業省 九州経済産業局、(一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会「九州半導体人材育成等コンソーシアム (第4回会合)」2024年2月27日

九州エリアの電力需要 (産業用その他)



出典：電力広域的運営推進機関「全国及び供給地区ごとの需要想定 (2024年度)」2024年1月24日